株式会社 エム・システム技研

フィールドネットワーク対応 ***61•UNIT*** シリーズ

取扱説明書

Tリンク用（富士電機製）
マルチアナログ通信ユニット

形 式
61F

ご使用いただく前に

このたびは、エム・システム技研の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい
・変換器 ..... 1 **台**

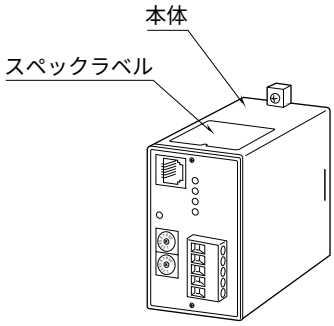
■形式を確認して下さい
お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペックラベルで形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について
本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

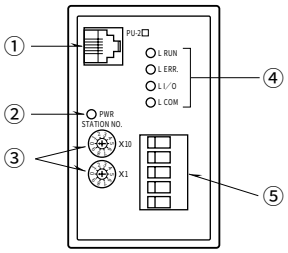
取付方法

多連ベース（形式：M□BS2**）をお使い下さい。**

各部の名称



■前面図と設定方法

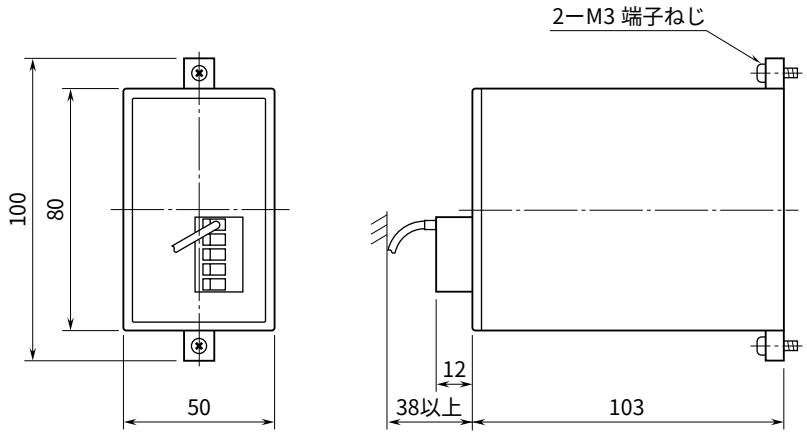


設定	名　称	内　容	
①	PU-2 □**接続用モジュラジャック**	**プログラミングユニット** PU-2 □**接続用モジュラジャック**	
②	**電源表示ランプ**	ランプ名称（色）	内　容
		PWR（**緑**）	**点灯：電源供給あり** **消灯：電源供給なし**
③	**局番設定スイッチ**	**局番を** 00 ～ 99 **の範囲で設定する。（工場出荷時の設定：**00**）**	
④	**運転状態表示用ランプ**	ランプ名称（色）	内　容
		L RUN（**赤**）	**点灯：交信正常** **消灯：交信断時（タイムオーバエラー）**
		L ERR.（**赤**）	**点灯：交信データエラー時** **消灯：交信正常時**
		L I／O（**赤**）	**入出力正常時点滅**
		L COM（**赤**）	T **リンク通信正常時点滅**
⑤	**通信用コネクタ**	T **リンク用ケーブル配線用コネクタ**	

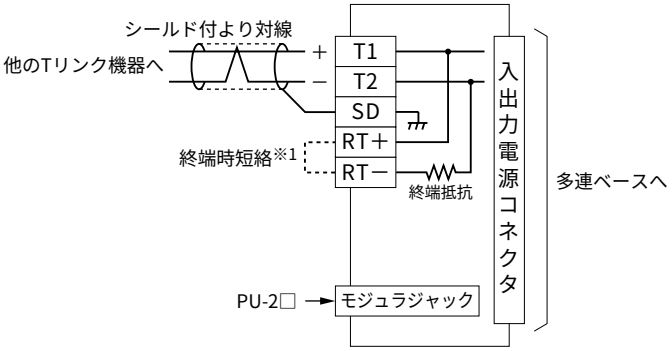
接　続

各端子の接続は下図を参考にして行って下さい。

外形寸法図（単位：mm）



端子接続図



※1、より対線の伝送ラインが終端の場合は（＝渡り配線がない場合）、
端子RT＋、RT－間を付属のショートチップ（または配線）で
短絡して下さい。
ユニットが伝送ラインの途中に配線されているときは、
端子RT＋、RT－間のショートチップをはずして下さい。
（注）渡り配線はT1、T2、SD端子を使って下さい。

ご注意事項

●設置について

・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。

・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。

・周囲温度が-5～+55**℃を越えるような場所、周囲湿度が**30～90 % RH**を越えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。**

●配線について

・配線（電源線、入力信号線、出力信号線）は、ノイズ発生源（リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。

・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

●その他

・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには10 **分の通電が必要です。**

雷対策

雷による誘導サージ対策のため弊社では、電子機器専用避雷器＜エム・レスタシリーズ＞をご用意致しております。併せてご利用下さい。

保　証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3**年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。**